

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用			
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置			
1	女 60代	甲状腺 未分化癌 [不明]	24mg 16日間 ↓ 休薬 ↓ 20mg 16日間	<p>動脈出血 既往歴：不明</p> <p>投与開始日 腫瘍径（最長径）：43mm。腫瘍は頸動脈，皮膚に浸潤あり。皮膚への再発腫瘍で深部浸潤は不明瞭であった。本剤24mg投与開始（入院導入）。</p> <p>投与13日目 退院。</p> <p>投与17日目 AST/ALT上昇，蛋白尿のため，本剤休薬。</p> <p>投与22日目 本剤20mgに減量して投与再開。</p> <p>投与35日目 腫瘍径：0mm。</p> <p>投与38日目 朝から少量のじわじわした出血があり，自己にて圧迫止血。その後，夜になり，止血困難となったため入院した。圧迫止血。本剤は休薬。</p> <p>中止1日後 早朝，右総頸動脈から多量に出血し，制御不能。緊急手術，右総頸動脈結紮術を行った。出血は回復。</p>			
臨床検査値							
			投与 6日前	投与 3日目	投与 24日目	投与中止 1日後	投与中止 5日後
血小板数（ $\times 10^4/\text{mm}^3$ ）			24.3	21.2	13.1	11.3	14.7
国際標準比			-	0.85	-	1.21	0.95
プロトロンビン時間（秒）				10.8	-	14.4	11.3
活性化部分トロンボプラスチン時間（秒）			-	27.3	-	84.0	32.6
併用薬：不明							

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
2	女 60代	甲状腺 未分化癌 [不明]	24mg 8日間	<p>動脈出血 既往歴：不明</p> <p>投与1日前 本剤投与前の腫瘍径：80mm。 皮膚，食道，気管への腫瘍浸潤あり。皮膚は完全浸潤，食道・ 気管は浸潤疑い。エコーでは血管への浸潤はなかった。</p> <p>投与開始日 本剤24mg投与開始（入院導入）。</p> <p>投与6日目 腫瘍が壊死・脱落。腫瘍脱落部位（頸部）に皮膚瘻が出来、 血管の露出はなかったが滲出液が出ていた。 瘻孔に対しては，ガーゼで覆い，滲出液をふき取る処置をし た。その時点で出血はなかった。</p> <p>投与8日目 頸動脈周辺から出血し，患者本人から救急コールがあった。 (投与中止日) 2分後に意識消失，心停止。血管外科による総頸動脈結紮を 行い，ICUにて人工呼吸管理となった。本剤を中止。</p> <p>中止2日後 人工呼吸状態から自発呼吸となり，病棟に戻った。</p> <p>中止38日後 腫瘍増大，原疾患悪化により死亡した。</p>
臨床検査値：不明				
併用薬：不明				